

安全報告書

- 2008 -

ALPICO GROUP

松本電気鉄道株式会社

この安全報告書は、当社における鉄道輸送の安全の確保のための取組や安全の実態をまとめたものです。ご意見・感想をお寄せ下さい。

1. ごあいさつ

日頃、鉄道上高地線をご利用いただきまして誠にありがとうございます。
また鉄道事業に対して、ご理解とご協力をいただき、重ねてお礼申し上げます。

当社は、経営理念の第一に「安全・安心」の確保を掲げ、法令の遵守のもと輸送の安全確保に全社員が一丸となって取り組んでおります。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、各事業年度における輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態について公表するものです。今後とも、より一層鉄道の安全輸送を目指してまいりますので、皆さまのご理解と積極的なご意見をお寄せいただければ幸いと存じます。



松本電気鉄道株式会社
代表取締役社長 堀籠 義雄

2. 輸送の安全確保に関する基本的な考え方

(1) 安全基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下従業員全員に周知・徹底しております。

一致協力して輸送の安全確保に努める。

輸送の安全に関する法令及び関する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行する。

常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努める。

職務の実施に当たり、憶測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをすること。

事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとる。

情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保する。

常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦する。

(2) 19年度の重点安全施策

下記の安全施策を掲げ、「無事故」の目標達成に向け、一丸となり取り組みました。

- 教育・訓練の実施-----「実施計画」に基づき確実に行う。
- 基本動作の徹底-----「絶対にやらなければならないことは、絶対にやる。」
- 保守点検の実施-----「実施基準に基づいた検査」を適切に実施し、施設障害・車両故障の未然防止に努める。
- 異常時対応の確実性-----「人命第一・的確な通報・適切な処置・二次災害の防止処置」を行い早期の救急・復旧体制の構築を図る。
- 労働災害の撲滅-----「職場の全員が、健康で安全に働ける、明るく生き生きとした」職場作りを図る。
- 再発防止-----「事故事例・ヒューマンエラー」の検討を行い、原因、背後要因を追究する。
- コミュニケーション作り-----「何でも言える、笑いのある職場」を所属長が先頭に立ち築く。

(3) 安全目標（平成19年度）

区 分	項 目	内 容
定量的な目標	列車事故 (衝突・脱線・火災)	責任事故0
	乗客の死亡事故	責任事故0

(4) 安全目標に対する実績

19年度は安全目標を達成することができました。
今後も、安全目標の達成を継続できるよう、鉄道従事員一同、事故防止に向け更なる教育・訓練を実施し、事態を予測した防衛運転に徹します。

年 度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度
列車事故 (衝突・脱線・火災)	0	0	0
乗客の死亡事故	0	0	0
踏切障害事故	0	1	0

3. 輸送の安全の実態

当社では、列車運行の安全性向上のため、各種保安設備の設置や保守点検作業の質の向上などを図っていますが、不測の事故や障害などが発生することがあります。19年度の実態については、次の内容となります。

(1) 鉄道運転事故

鉄道運転事故はありませんでした。

年 度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事故件数	0	1	0
死傷者	0	1	0
うち死亡者	0	0	0

(2) 災害（地震・暴風雨などによる鉄道施設への被害）

自然災害による鉄道施設への影響はありませんでした。

- ・7月16日、中越沖地震の発生に伴う速度規制（松本震度4）及び要注意箇所への巡視を実施しました。
- ・9月6日、台風9号接近による警戒を実施し、要注意箇所への巡視・列車添乗巡視を実施しました。

(3) 輸送障害（30分以上の遅延や運休）

輸送障害は1件発生しました。

項 目	件 数	特記すべき輸送障害
自然障害など	0	
設備故障など	1	信号機器ヒューズ溶断（松本駅）
第三者障害など	0	

(4) インシデント（事故の兆候）

北陸信越運輸局へのインシデント報告はありませんでした。

(5) 行政指導等

9月11日～14日の間、北陸信越運輸局鉄道部の運輸安全マネジメント評価、保安監査が実施されました。

結果及びその後の改善措置については次のとおりです。

* 運輸安全マネジメント評価（下記事項の更なる取組みを期待）

- 1．経営トップの更なるリーダーシップ発揮とコミットメント
- 2．安全重点施策の社内への周知徹底
- 3．経営管理部門と現場とのコミュニケーションの充実
- 4．安全管理体制に係る管理部門への内部監査の仕組みの確立
- 5．安全管理体制の見直し方法の整備

上記については、PDCAサイクルをスパイラルアップし、充実を図っていきます。

* 保安監査結果に基づく改善指示事項

- 1．軌道の遊間について、検査結果に基づき適切に整備を実施すること。
- 2．国道19号線立体交差架道橋の橋桁下防護工の設置又は危険である旨の表示をおこなうこと。
- 3．変電所の接地抵抗が規定する値を超過しているので改善すること。
- 4．定期検査の結果、改修を必要とした設備について、速やかに改修すること。なお、改修を行ったときはその記録を作成し保存すること。

改善指示及び勧告の措置状況報告書を提出し、1．については平成20年度内に整備、2．については平成20年4月実施、3．については平成20年2月実施済、4．については保安監査後、速やかに実施済である報告をしています。

（6）社内監査の実施

4月25日、鉄道の各職場で実施しました。結果に基づき検討し、実施した項目は次のとおりです。

- 1．人命を預かっていることを常に念頭に置き、一人一人が何をするのか責任を明確にし、安全実施項目を掲出する。
- 2．事故事例は共有し、再発防止に取り組む。（全員確認の管理）
- 3．受理、伝達の確認、引継簿などの見直し。

1．については、職場ごとに安全確保についての項目の検討を行い、掲出と周知、2．については、職場での教育資料として活用し、捺印の実施、3．については、受理、伝達簿には必ず捺印する。又、個人台帳の整備、指導日誌の見直しを行いました。

4 . 安全対策

従事員の資質向上の取組みや設備投資を行い、事故の未然防止に努めています。

(1) 設備対策

安全対策事業の整備計画に基づき、平成 19 年度には、下記溝橋 6 箇所を補修しました。

1 . 0 k 6 9 3 m	溝 橋		間詰め工事
2 . 1 k 4 3 1 m	征矢野川橋梁	ひび割れ箇所	注入工事
3 . 1 k 4 5 2 m	市道両島橋梁	ひび割れ箇所	補修工事
4 . 1 k 5 5 1 m	農道 (B) 袖壁	隙間箇所	間詰め工事
5 . 7 k 3 7 9 m	溝 橋	橋台、沓座修復・桁塗装工事	
6 . 0 k 6 1 0 ~ 1 k 0 0 0 m		バラスト落下防止工事	

列車の過走による線路終端部への進入を防ぐため、松本駅構内に自動列車停止装置 (A T S) を設置しました。

強風対策として、奈良井川橋梁西側に風速計を設置して運転指令所において風速を常時監視し、安全運行に努めています。

降雪時の転轍器の転換不良事象を防止するため、森口駅構内に電気融雪器を設置しました。



松本駅終端防護用 A T S



風速計設置

尚、安全のための支出として、営業収入の 4 % を鉄道施設の安全関連設備投資に充てています。平成 19 年度は、12,448 千円になりました。車両は、平成 19 年度で 2 編成 4 両、全般検査 (8 年に 1 回の法的検査) を実施しています。

(2) 踏切道の安全対策

鉄道上高地線には、54箇所の踏切があり、内訳は第1種踏切道（警報機・遮断機付き）が47箇所、第3種踏切道（警報機付き）が1箇所、第4種踏切道（設備がない）が6箇所（私道3・農道1・A規制1・市道1）となっています。今後、第4種の市道については、廃止又は規制をかけるよう行政、地元と調整を図っていきます。

又、警報中の踏切内に自動車などが立ち上がった場合や踏切から出られなくなったとき、列車に緊急事態を知らせるとともに、衝突、脱線などの重大事故を防止し、自動車、通行者などとの事故を可能な限り防ぐことを目的として、自動式踏切支障報知装置を主な踏切道に設置しています。

(3) 駅の安全対策

お客さまがホーム上から車両間（車両連結部）への転落を防止するため、全ての車両間の隙間に転落防止用ホ口を設置しています。混雑時には、ホーム、通路での旅客の安全確保に努めています。



転落防止用ホ口

(4) 教育・訓練など

当社では、「人命第一」のもと、教育・訓練を年間計画に基づき実施しています。

平成19年度は、非常時対応訓練、故障時対応訓練を5回実施しており、通報・処置方法などをチェックし、不備な点については、再教育などを行い質の向上を図っています。

警察及び消防との合同訓練では、的確な情報把握・通報のほか相互間の連絡体制や連携などを確認しました。

技術関係職場では、協力会社を含めた合同安全講習会を開催し、事件事例、触車防止などを検討し、労働災害撲滅に努めています。

又、北陸信越鉄道協会主催による第3回安全対策教育指導講習会が開催され、「運転業務に携わる係員の指導・教育」をテーマに講習を受け、この中で学んだことを社内教育に取り入れ、安全意識の向上に役立てています。



警察・消防との合同訓練



合同安全講習会

(5) ヒューマンエラー、ヒヤリ・ハットの取組み

ヒューマンエラー、ヒヤリ・ハット事案が発生した時は、些細な事でも、これを共有し対策を講ずることが事故防止に繋がります。

当社では、発生時は報告書の提出を求め、原因と背後要因を明らかにし、情報を共有し、再発防止に向け取り組んでいます。

(6) 各安全運動の取組み

- | | |
|--------------------|-------------|
| ・春の全国交通安全運動 | 5月11～20日 |
| ・安全輸送・サービス向上強化旬間 | 8月 1～16日 |
| ・秋の全国交通安全運動 | 9月21～30日 |
| ・年末年始安全輸送に関する安全総点検 | 12月10～1月10日 |

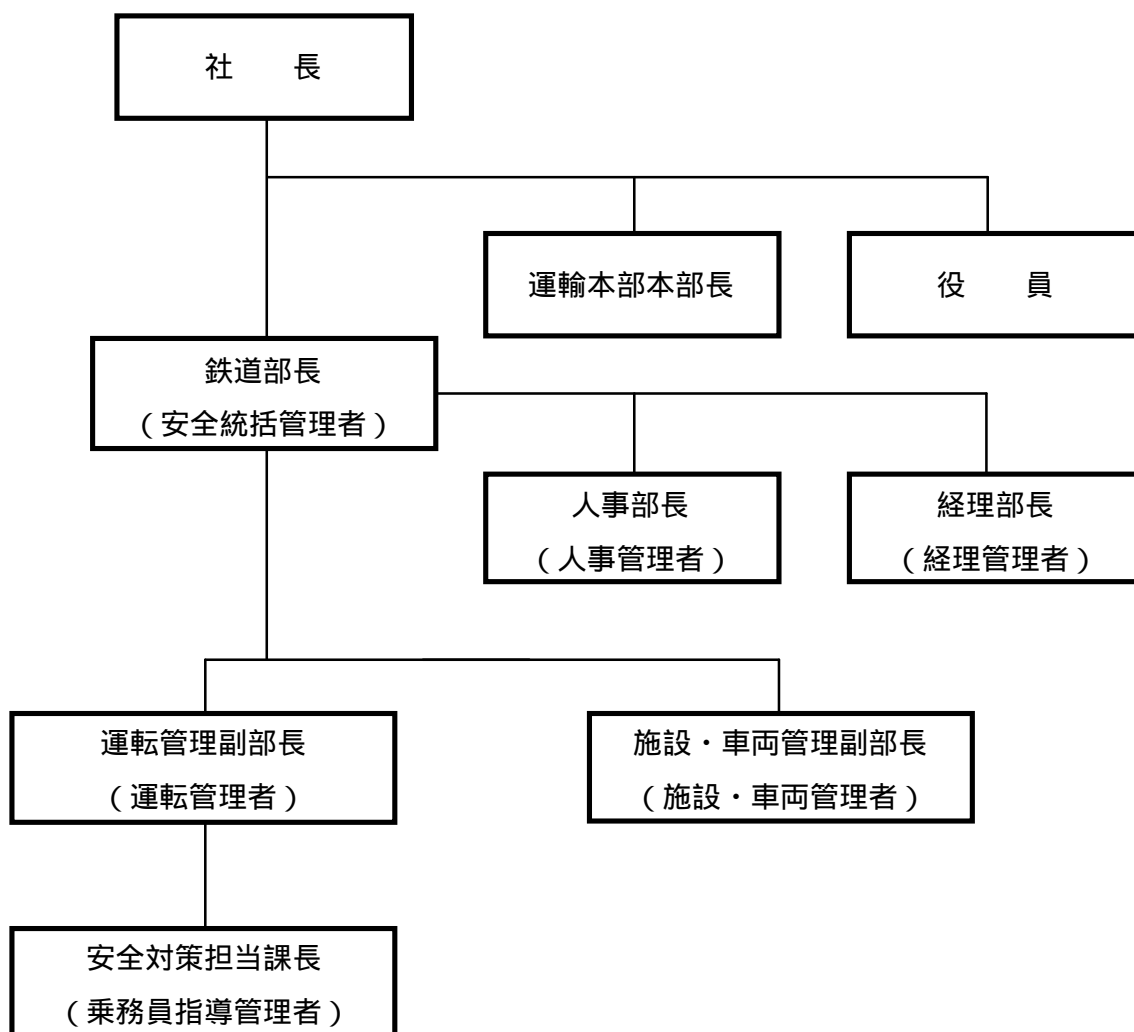
各安全運動を通じ、職場での会議を開催し「安全確保」について、一人一人が何をすべきか確認し取り組みました。

- ・テロ対策による車両、施設、沿線の巡回
- ・設備、構造物の点検整備
- ・ホーム、乗降の際の利用客の安全確保
- ・点呼時の健康状態、アルコールチェック、指示事項の確実な実施
- ・規程類、事件事例の学習、非常訓練の実施
- ・基本動作の励行 「何故行うのか」の認識点検

5 . 安全管理体制

(1) 安全管理組織

当社では、社長をトップとする安全管理組織を構築・運用しています。この組織の中で、安全統括管理者、運転管理者、施設・車両管理者等が、それぞれの責務を明確にした上、安全確保のための役割を担っています。



(2) 安全マネジメントに関する会議の開催

当社では鉄道安全マネジメント会議を四半期ごとに開催し、期間中に発生した運転事故・輸送障害の分析、再発防止対策の検討をするとともに、次の四半期の安全重点目標を設定し、事故防止に努めています。又、バス事業との合同会議も開催し、トップも出席する中、会社全体として、より一層の運輸安全マネジメント体制の確立に向け、取り組んでいます。

6．平成20年度の輸送の安全確保

20年度は運輸安全マネジメント体制を更に充実させるために、目標「無事故」を掲げ、これを達成するための方針「一人一人が自分の仕事とは何かを考え、それを--きちん--と行う」を立て、取組みます。

7．利用者・住民の皆さまとの連携とお願い

(1) テロ対策へのご協力のお願い

当社では、ゴールデンウィーク・夏山の繁忙期・年末年始などにテロ対策として、列車内・駅構内・沿線の巡回を実施しています。お客様が不審物などを見かけたら、係員・警察へご一報お願いします。



(2) イベントの開催によるPR活動

地域の方々と共同で「上高地線ふるさと鉄道まつり」を開催し、鉄道上高地線に対するの親しみやご理解、そして事故防止に努めて頂けるようPR活動を行っています。



イベント風景

(3) こども110番の駅

当社の波田駅及び新島々駅は、「こども110番の駅」として地域の子供達を守るための取組みを行っています。

〔主旨〕

- ・ 「こども110番の駅」では、不審者（犯人）から逃れるために逃げ込んできたこどもの安全を確保します。また、犯罪発生時のみでなく、日頃から安全への配慮を心がけ、安全な地域づくりに貢献するとともに、こどもにとって楽しく、フレンドリーな駅づくりを目指します。
- ・ 「こども110番の駅」のステッカーを見てこどもが駅に助けを求めにきた場合、こどもを保護し、こどもに代わって110番通報の対応を行います。



(4) 踏切での列車妨害防止へのお願い

平成19年度、自動車の踏切停止位置の不良や歩行者などの直前横断によるヒヤリ・ハット事例が発生しております。

踏切事故防止のため、踏切の手前では必ず一旦停止の上、左右を確認していただくとともに、警報機が鳴り始めましたら踏切内へ進入しないよう沿線の皆さまのご協力をお願い致します。



8 . 安全報告書へのご意見に対する連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せ下さい。

松本電気鉄道(株) 鉄道部
TEL. 0 2 6 3 - 2 6 - 7 3 1 1 (直通) E-mail matsuden-tetsudo@alpico.co.jp 月～金 8 : 5 0 ~ 1 7 : 3 0 (祝休日を除く)